

		医薬品名 (一般名)	措置概要	措置国
666	G-07000668	酒石酸トルテロジン	酒石酸トルテロジンのUSPIIにおいて、胃腸管運動低下、重症筋無力症をPrecautionsに追加する改訂が行われた。	米国
667	G-07000669	エポエチン アルファ(遺伝子組換え)	米FDAは、癌患者の貧血に対する赤血球造血刺激因子製剤(ESA)のリスクに関し、生存率、腫瘍進行および血栓塞栓症に関する根拠が蓄積されており、ESAの正味の利益を再評価すべきであるとして、現時点で行うべき対策を抗がん剤諮問委員会(ODAC)に諮問した。ESAに関し、乳がん、頭頸部がんなど癌腫の制限および本剤投与開始時のHb濃度の規制等に賛成する決議がなされた。	米国
668	G-07000670	ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)	米FDAは、癌患者の貧血に対する赤血球造血刺激因子製剤(ESA)のリスクに関し、生存率、腫瘍進行および血栓塞栓症に関する根拠が蓄積されており、ESAの正味の利益を再評価すべきであるとして、現時点で行うべき対策を抗がん剤諮問委員会(ODAC)に諮問した。ESAに関し、乳がん、頭頸部がんなど癌腫の制限および本剤投与開始時のHb濃度の規制等に賛成する決議がなされた。	米国
669	G-07000671	クラリスロマイシン	米FDAは、クラリスロマイシンの添付文書内の「警告」においてクロストリジウム・ディフィシル関連下痢症(CDAD)について新たに記載した。	米国
670	G-07000672	一般用医薬品 かぜ薬	カナダ規制当局は、ephedraまたはエフェドリンを含有している製品(単独またはカフェインおよびその他興奮剤との組み合わせ)を、減量・筋肉増強等の目的で使用しないよう消費者へ注意喚起を行った。	カナダ
671	G-07000673	パミドロン酸二ナトリウム	パミドロン酸二ナトリウムのCCDSが改訂され、Special warnings and precautions for useの項における顎骨壊死に関する記載が変更・追記となった。	スイス
672	G-07000674	ジアフェニルスルホン	製造元とMedicines for Malaria Venture(MMV)は、クロルプログアニル、ダブソン、アルテスネート(CDA)を一定量配合した抗マalaria薬の開発を、臨床試験において、コース-6-リン酸脱水素酵素(G6PD)欠損症患者にヘモグロビン値の有意な低下が認められたため、中止した。	スイス
673	G-07000675	ジアフェニルスルホン	製造元とMedicines for Malaria Venture(MMV)は、クロルプログアニル、ダブソン、アルテスネート(CDA)を一定量配合した抗マalaria薬の開発を、臨床試験において、コース-6-リン酸脱水素酵素(G6PD)欠損症患者にヘモグロビン値の有意な低下が認められたため、中止した。	スイス
674	G-07000676	エポエチンベータ(遺伝子組換え)	米FDAは、癌患者の貧血に対する赤血球造血刺激因子製剤(ESA)のリスクに関し、生存率、腫瘍進行および血栓塞栓症に関する根拠が蓄積されており、ESAの正味の利益を再評価すべきであるとして、現時点で行うべき対策を抗がん剤諮問委員会(ODAC)に諮問した。ESAに関し、乳がん、頭頸部がんなど癌腫の制限および本剤投与開始時のHb濃度の規制等に賛成する決議がなされた。	米国
675	G-07000677	スルファメトキサゾール含有抗菌点眼薬	フランスの規制当局Afssapsは、ソラマメ中毒(遺伝的にglucose-6-phosphate dehydrogenase(G6PD)を欠損)を起こす患者は一部の医薬品や食品に対し生命を脅かす反応が起こる可能性があるため、回避すべき医薬品リスト(ガイド)を作成した。	フランス
676	G-07000678	スルファメトキサゾール含有抗菌点眼薬	フランスの規制当局Afssapsは、ソラマメ中毒(遺伝的にglucose-6-phosphate dehydrogenase(G6PD)を欠損)を起こす患者は一部の医薬品や食品に対し生命を脅かす反応が起こる可能性があるため、回避すべき医薬品リスト(ガイド)を作成した。	フランス
677	G-07000679	スルファメトキサゾール含有抗菌点眼薬	フランスの規制当局Afssapsは、ソラマメ中毒(遺伝的にglucose-6-phosphate dehydrogenase(G6PD)を欠損)を起こす患者は一部の医薬品や食品に対し生命を脅かす反応が起こる可能性があるため、回避すべき医薬品リスト(ガイド)を作成した。	フランス
678	G-07000680	ヘパリンカルシウム	EMEAは、イタリアおよびデンマークにおいて、中国の原料を用いたOpocrin SPA製造のヘパリン原料が異物混入により回収中であると発表した。	イタリア
679	G-07000681	ヘパリンカルシウム	米FDAは、ヘパリンナトリウムの添付文書の「警告」において血小板減少症について新たに記載した。	米国
680	G-07000682	カベルゴリン	米FDAにおいて、カベルゴリンのラベルが改訂された。「禁忌」において心臓等の線維症既往歴のある患者が、「警告」に弁膜性疾患に関する注意が記載された。	米国
681	G-07000683	クラリスロマイシン	米FDAは、クラリスロマイシンの添付文書内の「警告」においてクロストリジウム・ディフィシル関連下痢症(CDAD)について新たに記載した。	米国
682	G-07000684	ヘパリンナトリウム	重篤な有害事象発現によりBaxter Healthcare社が米国全域でHEPARIN sodium 製剤の自主回収を行ったこと、および、その製品原料からヘパリン様の異物が検出された問題に関連し、今回、米国およびカナダにおいてBaxter社以外の会社でも、HEPARIN sodium 製剤の自主回収を開始した。	米国